J.SPRINGS

取扱説明書
INSTRUCTION
パーペチュアルカレンダー

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申しあげます。なお、この取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

⚠警告	取扱を誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示しています。
⚠注意	取扱を誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示しています。

電池についてのお願いとご注意

1. 最初の電池

この時計にセットされている電池は、工場出荷時に組み込まれているモニター電池ですので、電池寿命に満たないうちに容量が切れることがありますのでご了承ください。

2. 電池交換

①電池交換はお早めに、最寄りの時計販売店で行ってください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因となりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
④電池交換後、カレンダーが正しく表示されているかご確認ください。年、月、日が正しく表示されない場合は、カレンダー合わせを行ってください。(カレンダー設定の確認と合わせかたを参照してください。)

3. 電池寿命予告機能

秒針が2秒毎に運針をし始めた場合、できるだけ早く電池交換を行ってください。交換しない場合、数日で時計が止まります。
※2秒運針中でも時刻の精度に影響はありません。
※2秒運針中は日付は切り替わりませんが、故障ではありません。

⚠警告

・この電池は充電式ではないので、絶対に充電しないでください。誤って充電した場合、電池の破裂、液漏れ、破損の危険があります。
・裏ぶたを故意に開け、電池を取り出さないでください。
・やむを得ず時計から電池を取り出した場合は、直ちに幼児の届かぬ場所に保管してください。
・幼児が万一飲み込んだ場合は、危険ですので直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

・常温(5℃～35℃)から外れた環境で長時間保存しないでください。電池寿命が短くなったり、電池漏液による故障などの原因となる場合があります。

年対照表

カレンダー	うるう年からの年数	年	年	年	年
4	うるう年	-	2032	2060	2088
5	1年	-	2033	2061	2089
6	2年	-	2034	2062	2090
7	3年	2007	2035	2063	2091
8	4年(うるう年)	2008	2036	2064	2092
9	1年	2009	2037	2065	2093
10	2年	2010	2038	2066	2094
11	3年	2011	2039	2067	2095
12	4年(うるう年)	2012	2040	2068	2096
13	1年	2013	2041	2069	2097
14	2年	2014	2042	2070	2098
15	3年	2015	2043	2071	2099
16	4年(うるう年)	2016	2044	2072	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
28	4年(うるう年)	2028	2056	2084	・
29	1年	2029	2057	2085	・
30	2年	2030	2058	2086	・
31	3年	2031	2059	2087	・

製品仕様

1. 水晶振動：　32,768Hz
　(Hz=1 秒間の振動数)
2. 携帯精度：　平均月差約 ±20 秒
　(気温5℃～35℃において)
3. 作動温度範囲：−5℃～+50℃
4. 駆動方式：　ステップモーター式
5. 使用電池・電池寿命：
　小型酸化銀電池(SR927SW)
　電池寿命4年

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

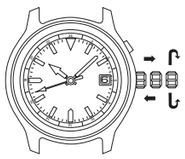
パーペチュアルカレンダー

・この時計は2100年2月28日まで、うるう年を含めた「大の月」「小の月」を判別し、自動的に月末の日付を修正するパーペチュアルカレンダー機能を搭載しています。
　※2032年以降は年対照表に沿って年を確認する必要があります。
・この時計は、年、月、日を表示します。

ご使用になる前に

・この時計はカレンダーデータを記憶しており、月末の日付(うるう年を含め、小の月の日付)修正を自動的に行い、以降お客様がその度に修正される必要がないようになっています。
・ご使用になる前に、現在時刻に合わせてからご使用ください。時刻合わせの際は、「時刻/日付の合わせかた」を参照してください。

時刻/日付の合わせかた



リュウズ

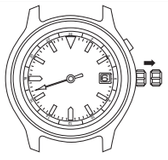
秒針が12時位置に来ましたらリュウズを2段目まで引き出します。
▼
リュウズを回して日付と時刻を合わせます。
▼
時報と同時にリュウズを押し込みます。

①時計の運針あるいはリュウズ操作で時刻を進める場合には、カレンダーは午後11時から午前1時の間で日付が切り替わります。また、リュウズ操作で時刻を戻す場合、カレンダーは午後9時から午後10時の間で日付が切り替わります。
【午前/午後の確認】
時刻を合わせるとき、午前/午後を間違えないように合わせてください。
・時刻を1時過ぎまで進めたとき、日付が進んだら午前になっています。日付が切り替わらなかったら午後になっています。
・時刻を9時過ぎまで戻して、日付が戻ったら午後になっています。日付が切り替わらなかったら午前になっています。
②時刻を合わせるとき、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。
③時刻と日付を合わせた後、日付が正しく表示されていない場合には、午前/午後が合っているか確認をしてください。
午前/午後が合っているのに日付が正しく表示されていない場合には、「0マッチ(初期位置調整)」がずれている可能性がありますので、「カレンダー設定の確認と合わせかた」を参照の上、カレンダーを合わせ直してください。

カレンダー設定の確認と合わせかた

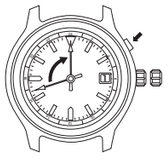
・下記の操作方法によりカレンダーの設定状態をご確認ください。必要な場合、カレンダーを合わせてください。
・午後11時から午前1時までの間はカレンダーの設定状態の確認とカレンダー合わせは行わないでください。午後11時から午前1時までの間にカレンダー合わせが行われたとき、日付が正しく切り替わらないことがありますので、この時間帯以外に針を動かしてから、日付を合わせた後に針を戻して時刻を合わせてください。
・リュウズを2段目に引いた状態でカレンダーが自走中は秒針は12時位置からずれるかもしれません(初期設定)。
・カレンダーが自走中はボタン押しやリュウズ回しでの修正機能は効きませんので、カレンダー自走終了後に操作してください。
・カレンダー設定の確認や調整中に時計を2～3分間放置しますと、時計は通常運針を開始します。
・リュウズを1段引きや2段引きの状態で放置すると、電池寿命が短くなります。

①カレンダーの確認とカレンダー合わせの開始



リュウズ
リュウズを1段目まで引き出します。

②秒針の初期位置



ボタン
ボタンを2秒押し続けます。秒針が12時位置(初期位置)で止まります。カレンダーは自走して1で止まります。

※秒針が12時位置になっていない場合は、リュウズを回して秒針を12時位置に合わせてください。
※リュウズは1クリック毎に秒針を進めたり、戻したりできます。

③カレンダーの初期位置設定

ボタン
ボタンを1回押します。カレンダーは自走して「1」で止まります。

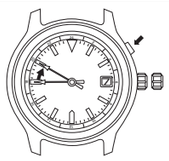
※カレンダーが「1」になっていない場合、リュウズを右回し、ないし左回しをして「1」に合わせてください。リュウズをゆっくり回して「1」は枠の中央にくるようにしてください。

④現在日

ボタン
ボタンを1回押します。秒針は9時位置で止まります。カレンダーは当日の日付に戻ります。

※カレンダーが当日の日付に戻らない場合はリュウズを右回し、ないし左回しをして当日の日付に合わせてください。
※リュウズは早回しすることで、カレンダーを早送りすることができます。早送りを止めるにはリュウズを逆回し(1クリック)します。

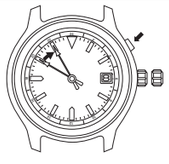
⑤当月



ボタン
ボタンを1回押します。秒針は10時位置で止まります。カレンダーは当日の月を示します。

※カレンダーが当日の月を示さない場合はリュウズを右回し、ないし左回しをして当日の月に合わせてください。
(カレンダーは1-12の間で切り替わります。)

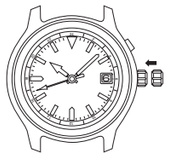
⑥当年



ボタン
ボタンを1回押します。秒針は11時位置で止まります。カレンダーは当日の年の下1桁か2桁を示します。

※カレンダーが当日の年を示さない場合はリュウズを右回し、ないし左回しをして当日の年の下1桁か2桁に合わせてください。
※2032年以降は年対照表に沿って年をご確認ください。

⑦カレンダーの確認とカレンダー合わせの終了



リュウズ
リュウズを0段目に押し込みます。通常運針を開始し、針は現在時刻に戻ります。カレンダーは自走し、当日の日付に戻ります。

使用上のご注意とお手入れの方法

●装着・携行等でご注意いただきたいこと

⚠警告

・携行時の転倒や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬけがを負う場合がありますのでご注意ください。
・乳幼児を抱いたりする場合は、時計との接触でけがを負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合がありますのでご注意ください。
・提げ時計やペンダント時計の場合は、ひもやチェーンによって大切な衣類や手、首などの身体を傷つけることがありますのでご注意ください。
・装着状態の動作によっては、時計が大切な器物と接触損傷したり、時計の故障となる可能性があるので取り扱いには十分ご注意ください。

⚠注意

・バンド中留部の構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

●日常のお手入れ

⚠注意

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと錆で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となりますので常に清潔にしてご使用ください。
・時計を外した時は、柔らかい布で汗や水分を拭き取るだけで、ケース・バンド・パッキンなどの寿命が違ってきます。
・化学薬品(ベンジン、シンナー、アルコール類、洗剤等の有機溶剤)で洗うと、化学変化で時計が劣化することがありますので、ご注意ください。
〈革バンド〉
柔らかい布などで水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色落ちしたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
〈金属バンド〉
柔らかい歯ブラシなどを使い、部分水洗いなどのお手入れをお願いします。洗浄後は吸湿性の良い柔らかい布で水分を十分にふき取ってください。非防水時計の場合は、時計本体に水分がかからないようにご注意ください。
〈軟質プラ製バンド〉
蛍光灯や太陽光の下に長時間放置したり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色や硬くなったり切れたりする場合があります。特に、半透明のウレタン製のバンドは、変色が目立ちやすく、使用条件によっては数ヶ月で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水に濡れたまま放置しておくと、早く変化することがありますので、汚れた時は、石けん水で洗ってください。バンドは化学合成製品ですので、溶剤によっては変質することがありますのでご注意ください。

●かぶれやアレルギーについて

⚠注意

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは、
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計本体やバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常が生じた場合は、ただちに使用を中止して、医師にご相談ください。

●防水性能

時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。

時計の防水表示	使用例 / 防水の水準		洗顔や雨など一時的にかかる水滴	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	空気ボンベを使用しないスキンダイビング	空気ボンベを使用する本格的な潜水およびヘリウムガスを使用する潜水(飽和潜水)	水滴がついた状態でのボタンの操作	水滴がついた状態でのリュウズの操作
WATER RESISTANTの表示のない時計	非防水		×	×	×	×	×	×
WATER RESISTANTの表示のある時計	日常生活用防水		○	×	×	×	×	×
WATER RESISTANT 5・10・15・20ATMの表示のある時計	日常生活用強化防水	5気圧防水	○	○	×	×	○	×
		10・15・20気圧防水	○	○	○	×	○	×

⚠警告

・日常生活用強化防水(10・15・20気圧防水)の時計は、飽和潜水や空気潜水には絶対に使用しないでください。
・日常生活用強化防水(5気圧防水)の時計は、素潜りを含め、すべての潜水行為には絶対に使用しないでください。
・日常生活用防水(3気圧)の時計は、水の中に入れてしまうような環境では絶対に使用しないでください。

⚠注意

・日常生活用強化防水の時計を海水等の環境下でのご使用後は、なるべく早く塩分などを洗浄しください。錆の原因となる場合があります。水道蛇口下での洗浄は、過度な水圧が加わり、防水不良の原因となる場合がありますので、容器内洗浄で過度な水圧が加わらぬように注意してください。
・革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響が出る場合があります。

●保管について

時計を使用しない時は、次の事項が、時計の破損や劣化、故障の原因等となる場合がありますのでご注意ください。
①「−5℃～+50℃からはずれた温度」環境下では、性能が劣化したり、停止する場合があります。
②直射日光の当たるところ、高温になるところ、低温にあるところに長時間置くと時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
③磁気の影響(テレビ、スピーカ、携帯電話、磁気ネックレス等)があるところに放置すると、時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
④強い振動のあるところに放置すると、破損や時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
⑤薬品の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置すると時計の劣化や破損の原因となります。
　薬品例)ベンジン、シンナー、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ洗剤、接着剤、水銀、ヨウ素系消毒液、防虫剤など
⑥温泉入浴、殺虫剤の入った収納場所など、特殊な環境に放置すると時計の劣化の原因となる場合があります。
⑦長時間時計を外しておく時は、箱などに入れて、風通しのよい場所に保管することをお勧めします。

●定期点検について

・ながく安心してご愛用いただくために、2～3年に1度程度の分解掃除による点検調整をおすすめします。
　ご使用状況によっては、機械部の保油状態が損なわれていたり、油の汚れなどによって部品が摩耗し、時計の進み、遅れが大きくなることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整をお買い上げ店にご依頼ください。
・電池交換などの部品交換の際は、「弊社指定の純正部品」とご指定ください。
・定期点検の際は、パッキンやバネ棒の新品交換も合わせてご依頼ください。